



- ・北海道洞爺湖サミットに向けた取組
- ・国際3Rの意義・方向性

---

平成19年10月1日

外務省



## 北海道洞爺湖サミットへの流れ

---

- 2007年6月 ハイリゲンドラム・サミット(独)  
地球温暖化対策に係る我が国提案に基づき、  
議論をリード →  
我が国の長期目標「2050半減」を含む各  
国の提案を真剣に検討することなどで合意。
- 2008年 北海道洞爺湖サミット  
明年7月7日～9日、我が国主催により  
北海道洞爺湖において開催予定。



## 北海道洞爺湖サミットに向けた取組

---

- 来年の北海道洞爺湖サミットのテーマについては、ハイリゲンダム・サミットの成果を基礎に、**「環境立国・日本」**として環境、気候変動問題を取り上げる予定。
- サミットの運営においては、徹底的に環境に優しいサミット、**日本の技術とノウハウのショーケース**にしたいと考えている。



## サミット運営における環境配慮

---

我が国の環境分野における取組や我が国が世界に誇る最先端の環境技術について発信するために国際メディアセンターにおける展示・デモを行うことを検討中。



## 3RとG8サミット

---

### ○ 2004年 シーアイランド・サミット

小泉総理(当時)による提案を受け、「我々は、発生抑制、再使用、再生利用(「3R」)イニシアティブを支持した」(議長総括)

### ○ 2005年 グレンイーグルズ・サミット

「3Rイニシアティブが東京でこの4月に開始された」(行動計画・気候変動、クリーンエネルギー、持続可能な開発)

### ○ 2006年 サンクトペテルブルク・サミット

「3Rイニシアティブにおいて循環資源を最適化するための包括的な措置に対する我々のコミットメントを再確認する」(世界のエネルギー安全保障)

### ○ 2007年 ハイリゲンダム・サミット

「エビアン、シーアイランド・サミットで、幅広い意味での資源効率(特に3Rイニシアティブ)に焦点を当てた」(気候変動とエネルギー効率及びエネルギー安全保障)



## 3Rと二国間の首脳文書

---

- 中国（環境保護協力の一層の強化に関する共同声明）

「循環経済の理念を積極的に推進し・・廃棄物の減量化・再生利用及び資源化を全力で実施」

- 米国（エネルギー安全保障、クリーン開発及び気候変動に関する共同声明）

「3Rイニシアティブの目標を再確認する」

- インドネシア（気候変動、環境及びエネルギー問題についての共同声明）

「3Rを通じた持続可能な資源利用」



## 3Rの国際的取組(アジアを中心に)

---

- 国際会議

  - 2005年 3Rイニシアティブ閣僚会合

  - 2006年 3Rイニシアティブ高級実務レベル会合

  - 2006年 アジア3R推進会議

- JICAによる技術協力

  - 専門家派遣: 中国、インドネシア

  - 廃棄物減量化調査: マレーシア

  - 3Rプロジェクト: ベトナム



# 国際3Rの意義・方向性

---

## 「意義」

- ・環境・エネルギー問題、気候変動対策
- ・新たな国際協力の形（技術移転・情報共有）
- ・日本思想・哲学（もったいない）を各国へ普及・伝播

## 「方向性」

- ・制度作り、数値目標の設定、国民・市民運動
- ・G8・アジア諸国との共有・協調